



岩内町ゼロカーボンビジョン策定委員会

- ・岩内町ゼロカーボンビジョンの策定にあたって、岩内町が主体となり「岩内町ゼロカーボンビジョン策定実行委員会」を設置しました。
- ・委員会は岩内町関係者や学識経験者、地域関係者等から選定された委員及びオブザーバーで構成されており、検討内容についての審議・質疑を行い、地域の合意形成を図ることを目的に、R5年6月からR6年2月までに計4回開催しました。



(上) 第1回 (下) 第4回策定委員会の様子



住環境・エネルギーに関するアンケート調査

- ・岩内町民の住環境やエネルギー等の現状・課題の把握を目的とし、北海道大学大学院工学研究院・建築環境学研究室と共同で岩内在住のみなさんへのアンケート調査を行いました。(町内世帯ランダム 1000 件抽出)
- ・アンケート調査で得られた回答から、以下4点に示す住環境の快適性に関する課題が見つかり、今後のゼロカーボンの施策や対策の検討の参考情報にしました。

住宅の満足度	光熱費の負担
・「やや不満」「不満足」という回答が約4割となり、住宅の寒さや隙間風が不満の理由に挙げられた。	・全体の約8割の住民が「負担になっている」と回答し、光熱費の削減を望む住民が多いことが分かった。
断熱性能の十分さ	環境問題への関心度
・約半数の住民が「十分ではない」「あまり十分ではない」と回答し、町営住宅やマンション・アパートは、一戸建てと比べて断熱性能が十分ではない傾向が見られた。	・環境問題に関心がある、脱炭素に取り組みたいと考える住民が多くみられ、今後、住民が実践しやすい取組を町が示し、意識・行動の変容を促すことが重要と考えられる。

パブリックコメントを実施しました



- ・岩内町在住の皆さんにゼロカーボンビジョン（素案）の内容を周知し、意見を募集すべく、パブリックコメントを実施しました。

意見を求める期間	令和6年1月17日（水）から令和6年2月15日（木）
意見を求める方	岩内町内在住者
結果	パブリックコメントによる住民からの意見はありませんでした。

⇒この結果は、町によるゼロカーボンに関する啓発が不足していると捉え、今後、住民の環境意識の向上や行動変容にも町として力を入れるべき取組であると考えます。

岩内町の課題の整理



- ・岩内町の現状を分析した結果、本町の喫緊の課題は「人口の減少」と「産業規模の縮小」であり、観光業についても年間の観光客数は減少傾向が見られていることがわかりました。
- ・今後、人口減少に歯止めを掛けつつ、産業の活性化に向けた取組が必要と言えます。
- ・以下に岩内町の主たる5つの地域課題を整理します。

岩内町 5つの地域課題

- ①生産人口・担い手・後継者不足
- ②地域産業・経済の縮小
- ③地域資源・経済の地域外流出
- ④地域コミュニティの衰退
- ⑤観光業における賑わいの低下

- ・岩内町は、これらの課題解決に向けた取組と、ゼロカーボンに向けた対策を有機的に連携・推進することで、環境と経済・社会が調和しながら成長を続けることができる、持続可能なまちづくりを目指します。

